

## 第 213 昭和の森自然観察会

### 「会えるといいね ・ オニヤンマ」

佐藤一枝 (千葉市)



日 時：2009 年 9 月 13 日(日) 13:00～15:00 天気 晴れ

参加者：55 名 (大人 27 名 子ども 28 名)

エコマインド受講生 1 名 指導員 17 名 合計 73 名

担当指導員：佐藤哲司 佐藤一枝

3 億 5 千年前の石炭紀には 70cm もある巨大トンボが飛んでいて現代のトンボとそう違っていないなかったようです。2 億年位前の化石から小型化し、今のムカシトンボ(生き た化石)に近いトンボが飛んでいました。

日本で一番大きなトンボはオニヤンマです。…今日は会えるよ！ ! …

【アカネ類(アカトンボ)の名前や大きさを調べよう】 ---羽紋が有るか無いかに大別れる。

トンボ羽を優しく持ち、足は(餌を捕まえたり止まったりするのに)大事なので、注意する。

・羽に紋が有るもの— ノシメトンボ・コノシメトンボ・リスアカネ・(マユタテアカネの♀の一部)

・羽に紋が無いもの— ナツアカネ・アキアカネ・マイコアカネ・マユタテアカネ

(羽紋のある♀もいる)

早速子どもたちが捕まえたのは羽に紋あり胸の模様を資料と合わせるとノシメトンボです。

眉班と区別、雌雄の区別もわかりづらい、「トンボの羽って、ザラザラしているね」と開長に苦戦。一緒に調べたり測ったりしました。(開帳 5.8cm でした)

水色の顔に真赤なマイコアカネ「お化粧しているからメス？」

副性器を見て！オス！と納得。「アカトンボ(コノシメトンボ)

きれいだね」とうれしそう。やっとマユタテアカネを捕まえ

“これが眉”とウム・ウムと頷いていた。ノシメばかりとぼやいていたが、ナツアカネをゲット！マユタテアカネのメスもいました。



**オニヤンマ** 谷津ショウブ田に悠々とオニヤンマが飛んでいる！！

一斉に網が舞う。捕まえようと真剣な顔・いい顔で追いかけています。---\*-近くに来てもヒュと逃げちゃって捕まらない—悔しい！の声。お父さんも夢中です。またここを通るからと待ち構えたりしていたが—一時間になってしまった。3班が捕まえたオニヤンマで佐藤(哲)の説明を聞きながら釘付になって観ていました。一人一人持つてみると！でかい。緑の眼がきれい。恐い顔。黄色と黒の縞々で鬼のパンツだ。尻尾が汚い。何回も地面に入れて卵を産んだからだって。測ってみると立派なメスで羽開長 13.8cm 体長 10 でした。

**感想** 面白かった。捕まえるのが楽しかった、測ったのが面白かった。8 四も捕まえて楽しかった。オニヤンマ追いかけて楽しかった。オニヤンマ逃げられたけど楽しかった。子ども以上に楽しんだ。こんなふうにトンボを見たのは初めてで勉強になった。トンボを持ったのは、初めてでびっくりした、でも子どもが楽しんでいたので良かった。

皆さんのが楽しんでくれたので本当に良かったです。測り易いようにツルツルの透明ファイルを用意すればなおよかったですのにと反省しました。